

# 広島大学学術情報リポジトリ

## Hiroshima University Institutional Repository

Title	恩師の思い出に
Author(s)	オンドロナ,
Citation	アジア社会文化研究 , 24 : 63 - 65
Issue Date	2023-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053973">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00053973</a>
Right	
Relation	



## 崔吉城先生を偲んで

### 恩師の思い出に

#### オンドロナ

私は崔先生指導の最後の修士の学生として 2000 年 4 月、広島大学大学院国際協力研究科に入学し、教育文化コースに在学していました。

2000 年 12 月初め、メールで連絡後、総合科学部の研究棟で初めて崔先生を拝見しました。ホワイトボードの前に着席し、背広に白いマフラーをかけて、中国歴史上の“五四青年”の知識人のイメージそのままでした。先生は先輩たちに「オンドルさんは日本に来たばかりなんで、皆で手伝って」と言われました。その後、崔ゼミの一員になりました。

崔ゼミは多言語の国際的な世界でした。先輩には、日本人、韓国人、中国人、マレーシア人がいて、常に、日本語、韓国語、中国語が交代して使われていました。

私は 2003 年 3 月に修士修了するまで崔ゼミの温かい雰囲気恵まれて幸せでした。当時、私は崔ゼミ生の中、日本語も研究レベルも低い者でしたが、先生をはじめ、先輩の皆さんに大変お世話になりました。崔先生はモンゴル関係の論著が見つかったら、いつも私に読ませようと大学に持ってきていました。先生に勧められて『土俗学より観たる蒙古』、『鳥居龍蔵全集』などを読み、私は修士論文を書き始めたのです。先輩の呂秀一さん、朴婷姫さん、孫蓮花さんは、長いあいだ私を生活面で支援し、福原裕二さん、中村八重さんは研究面でよく手伝ってくれました。

2002 年 5 月、私は重病で入院し、崔先生や先輩たち、並びに広大の関係者の方々に大変ご心配をおかけしました。当時、主治医者さんから手術の成功率が低いことを聞いて、崔先生は大変心配され、ゼミ生を何回も集めて、支援する色々な方法を検討してくださいました。私の手術の際には、崔先生は涙を流し、奥さんと一緒に手術室の外でずっと待って成功を祈っていました。奇跡的に手術は大成功し、私は 10 月から復学し、3 月に修士課程を修了

できました。崔先生はすごく喜んで、お祝いしてくれて「よく頑張ったね、博士課程後期にも入学してよかった」と図書券もくれました。2004年、崔先生の退官記念の祝賀会に参加した際に、崔先生は「広大で長い期間勤めて印象が一番深かったことは、オンドロさんが病氣したこと」と話され、当時私のためにいかに心配してくれていたか、私は一層深く感じました。

在学の際に、崔先生の本を含め、崔ゼミで多数の論著を読みました。それを通じて身につけたのは、崔先生が口癖のように話していた「常になぜという問題を考えなさい」という科学的な問題意識です。そのことは、私の博士論文執筆、そして社会学的研究への取りくみ、大学の教育活動で大いに役に立ってきました。現在、私は院生指導の際に、よく崔先生を真似て、問題意識をつけるよう強調しています。また、崔先生の「見たこと、あったこと」を常に記録してデータとしていかすこと、勤勉に執筆し研究成果を多く上げることも私の学ぶべきことです。2022年4月、崔先生の最新の著書を奥さんからいただきました。先生の本を読む度に、私は先生に会って、先生の経験を分かち合い、楽しんでいるように感じます。また、崔先生のホームページやフェイスブックをよく見ていましたが、先生は病氣中でも文章を記して、社会の不平等を批判し、弱者へ配慮し、学者としての正義感を保っていました。そのことに頭が下がります。

残念なことに、帰国後、私は崔先生になかなかお礼を申しあげる機会も、内モンゴルへ招くこともできませんでした。2018年10月、先輩の呂秀一さん、朴婷姫さんのおかげで、崔先生と大連市でお会いできて、一週間ほど一緒に過ごしました。しかし、それが崔先生との最後の面会だと思いませんでした。そのときに、呂秀一さんから、崔先生が心臓の手術を受けた話を伺いました。その後、コロナが発生し、国際交流は難しくなり、暫く日本へ渡航できませんでした。

私は2021年10月より、訪問研究者として広島大学で一年間滞在しました。2021年年末から崔先生の入院を伺いましたが、ずっと面会はできず、2022年3月24日、下関で最後の別れをしました。

広島大学の修士課程3年間は、私の日本留学生活の一番苦しい時でした。しかし、崔先生に出会い、崔ゼミにはいったおかげで、暖かさや思い出で満

ちた、一番幸せな時となりました。今後、先生のご期待を裏切ることなく、先生から教わったことを活かして成果を上げ、研究や教育に努力していききたいと思います。

崔先生、誠にありがとうございました。

先生のご冥福をお祈りします。